

誠実な企業であるために

お客さまの期待を感動に高めるよう  
一人ひとりが社会に目を向け、自分を磨いていきます。



＜イオン行動規範 宣言＞

- 一、イオンビープルは、常に多くの人々から支えられていることに感謝し、ひとときも謙虚な気持ちを忘れません。
- 一、イオンビープルは、人々との信頼をなによりも重んじ、いかなる時も正直で誠実な行動を貫きます。
- 一、イオンビープルは、お客さまの期待を感動に高めるため、常に自らを磨きます。
- 一、イオンビープルは、イオンの理想を実現するため、ためらうことなく変革への挑戦を続けます。
- 一、イオンビープルは、地域の発展を願い、よき企業市民として社会への奉仕につとめます。

◎イオン1%クラブ  
[www.aeon.info/1p/](http://www.aeon.info/1p/)

◎イオン環境財団  
[www.aeon.info/ef/](http://www.aeon.info/ef/)

◎「イオン行動規範」はwebでも  
詳細を掲載しています  
[www.aeon.info/aboutaeon/](http://www.aeon.info/aboutaeon/)

コンプライアンス徹底のために

イオンでは2003年4月に、イオンの基本理念を実現していくために私たちがとるべき行動を示した「イオン行動規範」を制定しました。すべての従業員への徹底を図るため、イオンモールでは毎年1回「イオン行動規範セミナー」を実施しています。グループの従業員も参加し、SCで警備や清掃を担当する協力会社も含め、2005年度は1,340名が参加しました。

また2005年度から「イオンモールSR賞」を設け、イオン行動規範セミナーやリサイクル、募金活動などでめざましい成果を上げたSC・部署を表彰し、さらに活動を深めます。

内部告発制度

2006年4月の公益通報者保護法を視野に、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなど、職場のさまざまな問題や人権、人事に関する相談窓口を、人事グループと労働組合に設置。社外の相談窓口も設けています。

個人情報保護の取り組み

2005年4月の個人情報保護法の施行を受け、個人情報保護方針を定めると同時に、11月にプライバシーマークの登録申請を行いました。

良き企業市民として

イオン1%クラブ

イオンは「環境保全」「国際的な文化・人材交流」「地域貢献・社会の振興」を柱に、社会貢献活動をすすめるために、1989年に「イオン1%クラブ」を設立。グループ各社が税引き前利益の1%を拠出し、活動しています。

(財)イオン環境財団

イオン環境財団では、国内外の植樹をはじめ、危機に瀕している自然環境を守る活動を展開するほか、志を同じくする団体への助成を行っています。

イオン社会福祉基金

2005年度は「イオン社会福祉基金」のボランティア給付を活用し、重症心身障害児(者)施設を慰问しました。新居浜・宮崎・盛岡・三光の各SCで、お買い物体験やプレゼント交換会を行い、従業員がお手伝いしました。

お客さまの視点で笑顔で対応していきたい。



■直方SC モーリーファンタジー  
山本 淳子さん

パートタイマーとして働いています。イオン行動規範セミナーで印象に残ったのは、お客さまの相手をしている時に、ほかのお客さまがこぼれたジュースです。どう対応すべきか話し合っただけで、目の前のお客さまにお待ちいただいてもそちらに行って対処するというもの。何よりも安全が優先ですから、状況をとっさに判断しながら、常にお客さまを第一に、自分がお客さまだったらという視点が必要だと学びました。

自分たちができることをひとつずつ積み重ねて

イオンの募金活動を全社で展開しています。お客さまのご協力がどのように活かされたかをお伝えし、ともに共有することで、活動を理解していただきたいと考えています。

また、従業員がみずから参加することを重視したプログラムを展開しています。

毎月11日の「イオンデー」には、始業前に従業員が地域の清掃をする「C&G(クリーンアンドグリーン)活動」を実施。2005年度は1万6,666人が参加しました。このほか、子どもたちを対象にした「あそびの学校」の企画・運営やイオンホールでのさまざまな地域貢献イベントを通じて、地域社会との信頼関係を深めていきたいと考えています。



■秋田SC  
従業員が雪かき隊を結成し、1月8日と2月10日に、民生委員とともに地元の高齢者宅の雪よせを行いました。屋根まで雪が積もったままになっていたお宅もあり、たいへん喜んでいただけました。

新潟県中越大震災義援金で  
紺綬褒章

2004年10月に発生した新潟県中越大震災に際して、イオンのグループ企業によるマッチングを合わせ、2億1,620万807円の義援金を送りました。これにより、イオン4社が紺綬褒章を受章しました。

寄付総額	216,200,807円
店頭募金	108,200,807円
マッチング額	108,000,000円
うち、紺綬褒章受章4社	
イオン	28,224,000円
イオンクレジットサービス	16,051,000円
イオンモール	13,937,000円
ミニストップ	10,108,000円



2006年3月に行われた伝達式にて



新潟県知事(中央)とともに、各社長と



■新居浜SC  
12月に新居浜市心身障害者福祉センターの方々に、SCでのお買い物を楽しんでいただきました。従業員がお手伝いしながら、クリスマス会用にラッピングにもチャレンジしました。



■鈴鹿SC  
小学校高学年の子どもたち約46人が参加し「ちびっこ商業体験」を開催しました。

イオンモールSR賞

賞	受賞部署/SC	受賞理由
行動規範推進賞	直方SC	行動規範セミナーに149名が受講
募金活動賞	高知SC	年間180万5,399円の募金実績
黄色いレシート推進賞	太田SC	上期で416万5,790円分のレシートを回収
クリーン&グリーン賞	下田SC	年間1,404名の従業員がC&G活動に参加
リサイクル向上賞	下田SC	廃棄物のリサイクル率57.6%→65.7%に向上
環境家計簿団体賞	柏SC	パートナー企業も含め、34名が環境家計簿に参加
SR会議特別賞	保険部会西日本営業部	行動規範セミナーへの全員参加と保険カウンターでの募金活動の展開

2005年度の主な募金活動結果報告

	「スマトラ島沖地震 災害下の子どもたちのために」 復興支援募金	24時間テレビ28 「愛は地球を救う」 チャリティー募金	米国ハリケーン 「カトリーナ」 災害支援募金*	台風14号 被災者支援募金*	パキスタン・インド地震 被災者緊急支援募金	盲導犬育成 支援募金	「世界自然遺産知床の森を守る」 クリスマスラッピング キャンペーン募金
	4月1日～5月22日	7月29日～8月31日	9月3日～9月20日	9月3日～9月20日	10月9日～10月30日	10月1日～11月30日	12月2日～12月25日
イオン(株)・イオン各社	42,861,074円	204,647,643円	18,679,013円	2,109,965円	26,857,470円	15,499,219円	10,871,917円
うちイオンモール	2,733,516円	9,393,138円	1,658,875円	357,294円	1,569,933円	2,099,219円	592,917円
イオン1%クラブ拠出金	43,000,000円		19,000,000円		30,000,000円		
イオン環境財団寄付金							11,000,000円
総合計	85,861,074円	204,647,643円	37,679,013円	2,109,965円	56,857,470円	15,499,219円	21,871,917円

\*被災地に近い三光SC、直方SC、宮崎SCの3SCは同時期に台風募金を実施。



バリアフリー・人材育成

さまざまなお客さまの求められるものに  
気づく心を育てるために。



韓国からのお客さまの多い宮崎SCではハングル文字の表示もあります

手づくりのポルトガル語資料も  
活用しています。



■浜松志都呂SC 総合サービスカウンター  
北村 春美

このSCはブラジルのお客さまが多いので、手づくりのポルトガル語の資料を用意しました。館内放送を流すときは、発音をうかがいながらアナウンスしています。聴覚障害の方がお見えになることも。手話のできるスタッフもいますが、せめて挨拶ができるよう勉強したいと考えています。



柏・三光・成田・太田SCの4SCでバスの乗車実績を把握しました。今後は、お客さまのSC来店時のバス利用率を高めるための施策を提案し、便利さとCO<sub>2</sub>削減をめざします。

ボランティア団体に協力いただき  
バリアフリーを推進

赤ちゃん連れから高齢の方、障害をお持ちの方など、イオンモールにご来店されるすべてのお客さまに、快適に過ごしていただけるよう工夫を重ね、実行しています。

全21SCがバリアフリーです。どのSCでも、オープン前にボランティア団体などに協力いただき、施設の使いやすさをさまざまな角度からチェックします。そんな中から誕生したのが、どなたにもご利用いただける「みんなのトイレ」です。最近はオストメイト対応機能も増やしています。バリアフリー

をすすめるためにもっとも大切なのは、お客さまの求めるものに気づく心。心くばり・目くばりできるよう従業員の意識啓発にも力を入れていきます。

ご高齢者への対応も視野に

今後ますます重要になってくるのが、ご高齢の方への対応です。どなたも気軽に来店いただけるよう、また地球温暖化防止のために、バスをご利用いただけるよう取り組んでいます。

下田SCにはデイサービスセンターがありますが、他のSCにも広げていくために、地域のNPOなどとのネットワークを強化していくことも、今後の課題です。

モール内のデイサービスセンター。  
SC全体を、楽しみながら活用しています。

■下田SC デイサービスセンター  
「でてこセンターふおれすと」所長  
熊谷 啓子さん



下田SCがオープンしたとき、バリアフリーをすすめるためのアドバイスをしたこと

が縁で、5年前からこのモール内でデイサービスセンターを運営しています。ここでは20代～80代の介護の必要のある約70名が登録されていて、1日15名がお見えになります。

館内どこもバリアフリーなので、お買い物や映画、喫茶店などへも自由に安全に、楽しんでもらっています。「リハビリのために歩く」のではなく、ここだと、お買い物をしながら知らない間

に歩いています。最初は車椅子で来られて、今では歩けるようになった方も。また、コミュニケーションを楽しみたい方も大勢いらっしゃいます。指を動かすリハビリを兼ね、パソコンや書道教室をしたり、バレエの講座でストレッチもしています。閉じこもりがちだった方も、ここに来ればお友達もでき、世界も広がります。

2002年度にバリアフリー化推進功労者表彰で内閣総理大臣賞をいただいたことも大きな励みになっています。



小売り経験を  
次世代に伝えるために

すべての従業員がイオンピープルとしての自覚と誇りをもち、SC開発・運営管理のプロ、保険コンサルティングのプロとして、自分の可能性を最大限発揮できるよう、従業員教育に力を注いでいます。

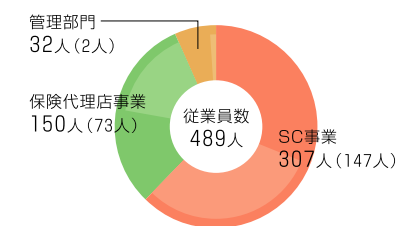
新入社員は入社後、集合教育でイオンの基本理念を学びます。その後、さまざまな実務を経験しながら、イオン・ビジネススクールでの専門教育や、外部の専門教育を受講します。

現在の大きな課題は、小売業を知るディベロッパーとしての知識と経験をもった人材を育てていくこと。社内講師による「パワーアップセミナー」などで幹部教育を行っています。SC経営士の資格取得も推進し、現在資格取得者は17名になりました。

さらに、優秀従業員の表彰も行い、さまざまな分野での従業員の優れた活躍を称え、ともに学びあおうとしています。また毎年、海外の最新SC事情を視察する海外研修を実施しています。

従業員データ

事業所別従業員数 (2006年2月20日現在)



従業員のうち臨時雇用者(嘱託社員・フレックス社員)数は、年間の平均人数を( )で記しています。  
※従業員数は単体。社外からの出向を含み、社外への出向を除いています

■フレックス社員\*技量認定制度

フレックス社員\*がさらに意欲をもって働けるよう、2006年度から、技量認定制度を導入します。職種ごとに目標を明示し、達成することで段階的に昇級するシステムです。  
\*当社では、いわゆるパートタイマー従業員をフレックス社員と呼んでいます。

■育児・介護休暇

従業員が仕事と家庭、生活を両立できるよう整備を進めています。育児・介護休暇は法定より手厚く、育児休暇は「最長1年6カ月または満1歳を超えた4月20日まで」とし、雇用期間1年以上のフレックス社員\*も対象者です。2005年度の育児休暇取得者は4名です。

■女性活用

女性従業員255名中、管理職は3名です。女性の活用は大きな課題です。

■障がい者雇用

障がい者雇用は、2006年2月時点で2.1%と法定雇用率を達成していますが、今後さらに雇用の機会を増やしていきたいと考えています。

■高齢者の雇用

高齢者雇用では、2006年の法律施行を視野に、社内65歳までの再雇用制度を構築しました。また各SCでもシルバー人材の雇用を推進していきます。

(各年2月末)

	2004	2005
障がい者雇用数 (雇用率)	6名 (1.7%)	8名 (2.1%)
育児休暇取得者数	3名	4名

組合員数 317名

◎当社の労働組合は、イオンモール労働組合と称し、本会社に同組合本部が、また、各事業所別に支部が置かれ、上部団体のイオングループ労働組合連合会を通じてゼンセン同盟に加盟しています。

自分の経験を役立てて  
保険アドバイスをしていきたい。



■保険事業本部  
関東営業部 営業第一課  
損保グループ  
白戸 宏宣

学生の頃、バイク事故で障害者認定で1級となりました。外を歩く時は杖を使っています。保険の仕事を決めたのは、自分の経験を役立ててお客さまにアドバイスができるのではと思ったからです。保険事業本部には障がい者はいませんが、SCには何人かいるので受け入れ態勢が整っていると思いました。これから仕事に必要な資格もたくさん取りたいと考えています。外回りやカウンターでの接客などにも挑戦したい。みなさんのお役に立ちたいと思います。



■水戸内原SC  
保育・託児サービスを行う「ちびっこランド」では、映画やお買い物を楽しむ間の一時預かりのほか、モール従業員のお子さんの預かり保育も行っています。